

件名：令和6年能登半島地震に関する志賀原子力発電所の点検状況等に係る面談

日時：令和6年1月16日（火）15：00～15：50

場所：原子力規制庁3階会議スペース及びテレビ会議システム

出席者：

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）長官官房総務課 事故対処室

山口室長、木原室長補佐、有田係長

原子力規制部検査グループ 実用炉監視部門

志賀上級原子炉解析専門官、浅野上席監視指導官、宮坂原子力運転検査官、大山原子力運転検査官補

北陸電力株式会社（以下、「北陸電力」という）

原子力部 担当者3名

東京支社 原子力・技術チーム 担当者1名

要旨：

○北陸電力から、令和6年能登半島地震に関する志賀原子力発電所の点検状況等に関して、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁から、以下の点を指摘した。

- ・北陸電力として、1月1日の地震発生以降、原子力規制庁緊急時対応センター（ERC）とのTV会議等で報告された事象が網羅的に整理されていないのではないか。事業者として発電所内で覚知した地震による損傷、不具合等を網羅的に整理すること。併せて、今回の説明資料では、地震発生後に確認された一部事象の時系列となっているが、上記のものについて詳細な点検結果、発生原因、復旧状況または見通しといった現在の状況を併せて説明すること。

○北陸電力から、原子力規制庁の指摘点を再度整理して、後日説明する旨回答があった。

配付資料：

資料1：令和6年能登半島地震時における志賀原子力発電所の状況について